

2025 年度 松山大学経済学部 一般編入学・学士入学試験
(時間 60 分)

次の問1から問3の中から2問だけを選び、それぞれ指定された別紙解答用紙に解答せよ。
受験番号は、各「解答用紙」左上の記入欄に全て記入すること。

問1. 以下の設問(1)～(3)について答えなさい。

(1) 次の空欄ア～オに当てはまる最も適当な言葉について、下記の選択肢①～⑩から選びなさい。なお、同じ選択肢を何度使用してもよい。

- ・国内総所得 = 雇用者報酬 + ア + 営業余剰 + イ
- ・国民総所得 = 国内総所得 + ウ - エ
- ・国内純生産 = オ - ア

選択肢

- ① 輸入 ② 政府支出 ③ 海外への所得支払い ④ 固定資本減耗 ⑤ 純間接税
⑥ 海外からの所得の受け取り ⑦ 税 ⑧ 国内総生産 ⑨ 国民総所得 ⑩ 輸出

(2) 労働市場における失業率の決定について考える。労働力を L 、就業者数を E 、失業者数を U とすると、以下の等式が成立する：

$$L = E + U$$

ここで、任意の月に就業者が失業する確率が5%、任意の月に失業者が就職する確率が45%であるとき、定常状態における失業率を求めなさい。

(3) 次のマクロモデルを考える。

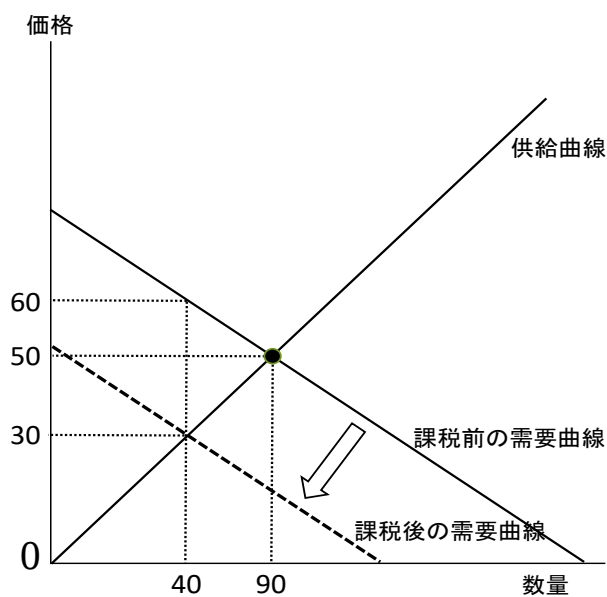
$$Y^s = Y$$

$$Y^d = C + I + G$$

$$C = 100 + 0.5(Y - T)$$

ここで、 Y^s と Y^d はそれぞれ総供給と総需要を表す。 Y 、 C 、 I 、 G 、 T はそれぞれGDP、消費、投資、政府支出、税を表す。 $I = 20$ 、 $G = 40$ 、 $T = 20$ であるとしたとき、この経済の政府支出乗数と均衡GDPについてそれぞれ求めなさい。

問2. 以下の図は、需要側に課税された市場を示している。次の設問(1)～(4)について答えなさい。



- (1) この課税による1単位当たりの課税額はいくらか。
- (2) 課税後に消費者が支払う1単位当たりの金額、生産者が受け取る1単位当たりの金額はそれぞれいくらか。

消費者が支払う金額 (ア) 円
A. 生産者が受取る金額 (イ) 円

- (3) この課税によって政府の税収はいくらになるか。
- (4) 消費者・生産者の税負担の割合はそれぞれいくらか。

問3. 次の文章を読み、設問に答えなさい。

資本主義的生産様式の下では、資本家は剰余価値を利潤として取得している。この「剰余価値」とは何か、また、どのように発生するのかについて、説明しなさい。この時、絶対的剰余価値と相対的剰余価値についても説明を加えること。